

4つの基本方針に関する総括

1 令和3年度に行った総括 … 詳細資料3-1

「市民が支える公園」として、持続的な運営ができるよう、入園者数や収入の増加に向け、「新たな将来ビジョンに関する調査」を実施。

■「基本方針2 市民が支える公園」の総括

現状把握

(1) 既存データの再分析

到津の森公園が来園者へ行っているアンケートや過去のマーケティング調査などを再分析し、到津の森公園の現状や特性等を把握した。

(2) ヒアリング

下記の実態調査の内容を決定するにあたり、到津の森公園の職員及び本市教育委員会の教職員へのヒアリングを行った。

実態調査

(1) インターネットを活用したアンケートによるマーケティング調査

令和3年10月に、北九州市、車で一時間以内にアクセスができる福岡県、山口県の市町村在住の1,007人に対し、到津の森公園に対する興味の有無や来園経験などについてアンケートを行った。

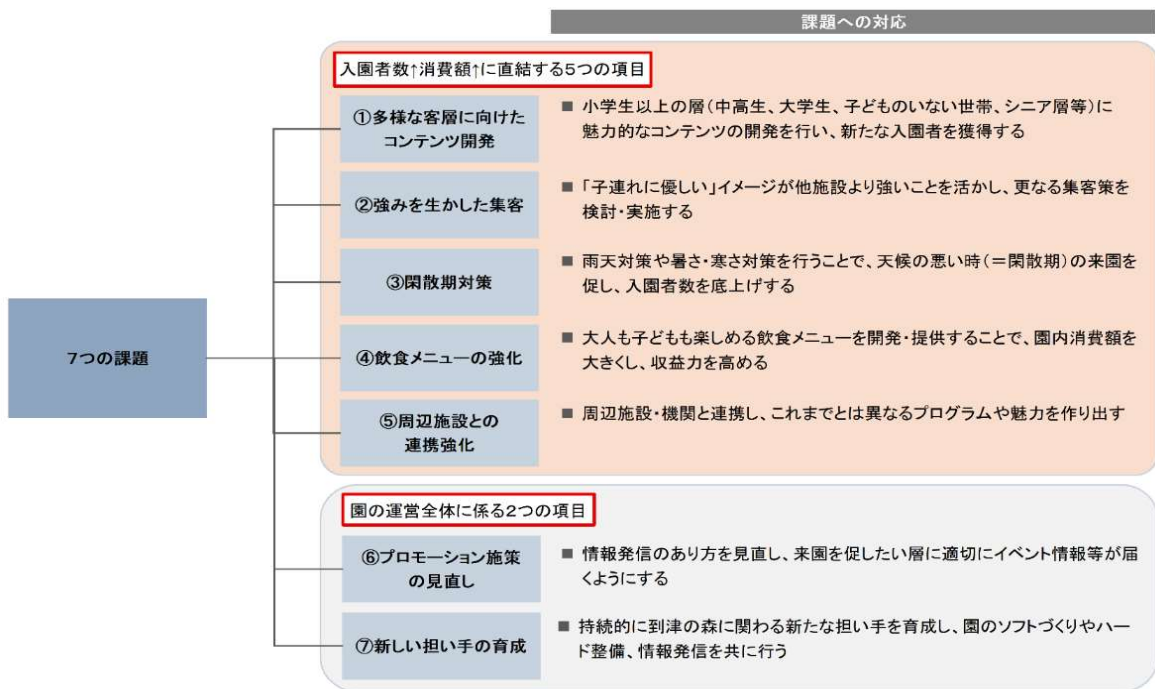
(2) 対面によるアンケート調査

令和3年11月7日、同種の施設であるグリーンパーク来園者101人(市内63人、市外38人)に対し対面によるヒアリングで調査を行った。

(3) ワークショップ開催による意見交換

令和3年9月17日と11月17日の2回、青年会議所会員、大学生などを参加者とするワークショップを実施した。

本調査において抽出された7つの課題



2 令和4年度に行った総括 … 詳細資料3-2

残る3つの基本方針である「自然環境教育施設」、「効率的な運営」、「中央公園と一体的な整備」について総括した。

■「基本方針1 自然環境教育施設」の総括

到津の森公園では、小学校を対象とした環境学習プログラム、林間学園など、動物や自然との出会い、体験活動等を通じた様々なプログラムを実施している。

自然環境教育施設としての評価の把握等を目的に、環境学習プログラムを利用している近隣の小学校を対象としたヒアリング調査(令和4年10月)、到津の森公園スタッフを対象としたワークショップ(12月)を実施し、総括を行った。

まとめ	課題	対応
<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校と連携した環境学習プログラムの提供、林間学園の長期継続など、自然環境教育施設の役割を果たしている。 ・ 独自のプログラム等が人気の要因である。 	<ul style="list-style-type: none"> ①小学生向けの様々な自然環境学習プログラムを展開する一方、中学生向けなど各学年のニーズを汲んだプログラムが必要。 ②コロナ禍前に実施していた動物や自然とのふれあいや体験活動を通じた学習は大きな魅力であり、時機を見て復活が必要。 ③雨天時にも対応したプログラムが提供できると良い。 	<p>教育の継続性 小学生のみでなく、中学生などに向けた、SDGsや園の特性を生かした途切れない教育プログラムの検討。</p> <p>コロナ禍対応の学習環境 ウィズコロナを見据え、ふれあい体験などを元に戻しつつ、動物の福祉にも配慮した学習の在り方を検討。</p> <p>雨天対応の学習プログラム 天候に左右されない学習プログラムの検討など。</p>

■「基本方針3 効率的な運営」の総括

到津の森公園の運営は、北九州市都市整備公社による管理委託、指定管理を経て、現在は、(公財)北九州市どうぶつ公園協会による指定管理により、運営されている。

現体制となった平成26年度以降の入園者数、収入・支出、バランスシートなどのデータを活用した財務分析を行い、総括を行った。

まとめ	課題	対応
<ul style="list-style-type: none"> ・来園者数が年間約38万人と横ばい(令和2年度からは新型コロナの影響を大きく受けた) ・遊具施設の充実、動物サポーターなどによる収入の確保、光熱水費の削減など安定的・効率的な運営を行っている。 ・バランスシート分析によると、運営の継続性、安定性を確保できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ①新型コロナウイルス感染症の影響で来園者数が落ち込んでおり、来園者数の回復・増加に向け取り組む必要がある。 ②遊具施設の充実、動物サポーター・友の会の募集など、収入確保を継続する必要がある。 	<p>来園者数の増加に向けた取り組み 多様な客層に向けたコンテンツ開発、飲食メニューの強化、周辺施設との連携強化、南エントランスリニューアルの活用などの取り組みを検討。</p> <p>収入確保の取り組み 遊具施設、動物サポーターなど多様な収入の確保を継続。</p>

■「基本方針4 中央公園と一体的な整備」の総括

平成14年の到津の森公園の開園の際、中央公園への編入など同公園との一体的な整備を行った。

これまでの振り返りと、今後の連携の可能性について把握する目的で、県営中央公園の管理者である福岡県等と意見交換(12月)を行い、総括した。

まとめ	課題	対応
<ul style="list-style-type: none"> ・開園の際に中央公園区域へ編入、進入路となる道路の整備や、北側立体駐車場の整備など、中央公園と一体的なハード整備を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○両公園においてイベントなどの賑わいづくりを行っているが情報共有の面などで連携が十分でない。 	<p>両公園が連携した賑わいづくり イベント情報の相互共有、連携したイベントの実施など。</p>